



File 6

【 高等学校教諭(国語科) 】

令和6年度採用 1年目

県南地区(足利市) 勤務

○ 教員を目指したきっかけ

小学生の時、子供たち一人ひとりの良いところを認めてくれる素敵な先生方に担任していただいたこと、自分が学んだことを弟たちに言葉で伝える面白さを知ったことから、教員という職業に憧れを抱くようになりました。

高校の教員を目指したのは、高校時代の勉強で「わからないもどかしさ」を経験したことがきっかけです。自分自身が経験したからこそ理解できる「わからないもどかしさ」に寄り添っていきたい、「わからない」と諦めてほしくないという気持ちから、高校教員になって子供たちの学びに関わりたいと考えようになりました。



○ 初めて教壇に立ったときのこと



初めて教壇に立った日は、期待と不安でとても緊張していたと記憶しています。

教員としての初授業は、1年生のクラスでした。私は「教員」として、生徒は「高校生」として初めてとなる授業。期待に溢れるまなざしでこちらを見ている生徒たちを目の前にして、「楽しい授業、学びの多い授業をこの生徒たちと創っていこう」と決心しました。今でも新たな単元の初日は、「この生徒たちとどんな授業を創ることができるだろう」という期待感と緊張感を胸に、教室に向かっています。

○ 職場環境や研修体制

現勤務校では、国語科の教員同士で授業展開や生徒の反応についてよく相談・共有しています。着任したばかりの1学期は、校風や生徒の現状などを把握しながらの授業であったため、不安や反省点が多く出てきました。そんな時に、具体的なアドバイスやフィードバックをいただくなど、様々な場面で経験豊富な頼れる先輩方に支えられながら日々学び続けています。

初任者研修の教科別分科会では、他校の先生方と授業実践を共有する活動もあり、各校の現状に合わせた工夫を知ることができます。実際に現勤務校で活用できそうな実践を自分の授業に取り入れようと努めています。



○ 教員を目指す方へのメッセージ

教員はとてもやりがいのある仕事です。もちろん大変なことも多い仕事ではありますが、その分、生徒の成長を目にしたり、様々な考えを共有したりする中で、喜びを感じることもできる仕事だと考えています。授業が終わってからも生徒たちが作品の内容について議論を繰り広げているとき、授業の振り返りで内容の理解度だけでなく文章から得られた気づきや学びも記述している様子を見たときなど、生徒自身が学びを吸収していると実感できた際に、教員としてのやりがいと喜びを感じています。

生徒の反応や学びについて考えながら授業を創る時間は、とても楽しいものです。また、生徒の成長とともに自分自身の成長を実感できることも、やりがいの一つであると考えています。皆さんと一緒に働くことができる日を心待ちにしています。



＼ 高等学校教諭(国語科)のとある1日 ／ ※副担任、部活動副顧問の場合(勤務時間は参考例です。)

8:35	出勤、メール確認、職員打合せ(共有事項伝達 等)	
8:45～ 9:05	朝の学習、SHR(出欠確認、連絡事項伝達 等)	
9:10～10:00	授業①:文学国語(3年生)	○授業が入っていない時間は、授業準備等の仕事を行っています。また、事前に許可をいただき、様々な教科の先生方の授業を見学しています。
10:10～11:00	授業準備、その他業務	
11:10～12:00	授業準備、その他の業務	
12:10～13:00	授業②:文学国語(3年生)	○2学期になると、就職試験や大学入試を受験する生徒たちの面接練習が入ることもあります。学校全体で進路指導を行っています。
13:00～13:40	昼休み、図書館当番	
13:45～14:35	授業準備、その他の業務	○昼休みや清掃、放課後は、授業では見られない生徒の新たな一面に気づくことができます。指導もちろん、生徒とのコミュニケーションも大切な時間です。
14:45～15:35	授業③:現代の国語(1年生)	
15:35～16:00	清掃監督、SHR	
16:00～17:05	部活動、教材研究、校務分掌業務 等	
17:05	退勤	